

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科		理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名		中枢神経系理学療法学Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		2年		学期及び曜時限	後期	教室名	302
担 当 教 員		高田 秀志	実務経験とその関連資格	理学療法士として医療機関に勤務経験(脊髄損傷患者への理学療法実績)あり。修士(人間科学)取得、日本物理療法学会などで発表経験あり。			
《授業科目における学習内容》							
脊髄の構造や伝導路の理解から始まり、脊髄損傷に伴う神経学的障害、評価法、日常生活動作への影響、そして具体的な訓練方法や生活支援技術に至るまで、理学療法士に必要な基本的知識と実践的対応力を学ぶ。							
《成績評価の方法と基準》							
筆記試験で総合的に評価を行う							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
脊髄損傷リハビリテーションマニュアル 医学書院 配布資料□							
《授業外における学習方法》							
教科書や配布資料を用いて予習・復習を行う							
《履修に当たっての留意点》							
ワークや口頭試問、実技を通して、暗記・理解に繋げていく□							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	脊髄の解剖・伝導路の機能と、損傷による障害像を説明できる		教科書 配布資料	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	脊髄の役割と損傷のメカニズム				
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	損傷レベルの評価方法と分類の意義を理解し、説明できる		教科書 配布資料	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	脊髄損傷の分類と評価(ASIA・Frankel・デルマトーム)				
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	損傷高位別のADL予測と、起こりやすい合併症を説明できる		教科書 配布資料	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	ADL予測と合併症の理解				
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	高位および低位脊髄損傷における動作訓練の原則を説明・実演できる		教科書 配布資料	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	マット・ベッド上動作訓練(高位／低位)				
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	移乗方法、車いす操作(前輪上げ含む)を実施・指導できる		教科書 配布資料	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	移乗・車いす操作訓練				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	FIMを用いた日常生活動作の評価・訓練目標の立案ができる	教科書 配布資料	教科書を用いて講義内 容の箇所を読んでおく。
		各コマに おける 授業予定	ADL訓練とFIM評価		
第 7 回	演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	ポジショニングと自律神経系の管理(排尿・排便・体温)を説明 できる	教科書 配布資料	教科書を用いて講義内 容の箇所を読んでおく。
		各コマに おける 授業予定	管理技術:ポジショニング・排泄・体温管理		
第 8 回	演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	自助具や車いす等を活用した生活支援技術を理解し提案でき る	教科書 配布資料	教科書を用いて講義内 容の箇所を読んでおく。
		各コマに おける 授業予定	自助具・住環境と福祉機器		